

令和5年度 シラバス

教科	商業	科目	プログラミング	学年	第3学年	学 科 類 科 型	情報ビジネス科
単位数	2単位	教科書	最新プログラミング(実教出版)				
副教材							

学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことによって、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に必要な資質・能力を育成します。
------	---

キャリア教育の視点	近年の急速な情報化の進展の中で必要になっているプログラミングについて、生活でのコンピュータの活用や問題の解決に必要な手順の理解、プログラミング的な思考の習得、コンピュータの働きを活かそうとする態度を養います。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	第4章 J a v a の活用 1節 ユーザインタフェース	ユーザインタフェースの設計の手順について理解し、プログラムの利用者にとって使いやすい画面を作成するための技法を学習します。 文字列の変数への代入、文字列の連結と分割など、文字列を処理するための技法を学びます。	期末考査
	5月			
	6月	2節 文字や画像などの処理		
	7月			
2 学 期	8月	第5章 ハードウェア・ソフトウェア 1節 ハードウェア	中央処理装置におけるアドレス指定の種類、命令実行の仕組みと高速化の方法、算術演算、論理演算、シフト演算の仕組み及び論理回路と演算回路について学習します。 また、主記憶装置の仕組みとアクセスの高速化の方法について学びます。 さらに、入出力装置と入出力インターフェースの種類・機能及び補助記憶装置の種類、記録の仕組み、信頼性と可用性を向上させる技術について学習します。	期末考査
	9月			
	10月	2節 ソフトウェア		
	11月			
	12月			
3 学 期	1月		ソフトウェアの体系及びシステムソフトウェアとアプリケーションソフトウェアの役割について学習します。	
	2月			
	3月			

学習の方法	コンピュータを使用した実習を中心にして、プログラミングについてのスキルを身に付けていきます。また、ハードウェア・ソフトウェアを中心に、基本知識や用語を学習し、理解を深めていきます。検定取得にも積極的に取り組み、上位級取得に向けて学習していきます。
-------	---

評価の仕方	定期考査の成績と平常点で評価します。平常点は、検定の取得状況、小テスト、授業態度、課題や提出物などを総合的に評価します。
-------	--

備考	
----	--